

三高同窓会 会報



会長ご挨拶

雲南会会長 福間 國夫 (高校二期卒)

平成二十年の新年は、この雲南地方一面銀世界の穏やかな初春でした。一向に景気の上向かない世相のなか、先行不安な幕開けの年となりました。

会員の皆様にはいよいよご健勝にて、ご活躍の事と拝察申し上げます。

三刀屋高校が普通科より総合学科に変わり、平成十八年度は一期生を社会に送り出し、今後の動向が期待されるところであります。

「雲南会」では平成十九年度の総会において、会員名簿「雲南」の刊行を廃止することといたしました。数年かけ

(高校二期卒)

て、近隣高校の刊行状況、近年殊にうるさくなった「個人情報」の外部への流出、不正利用など、種々の角度から検討の結果廃刊と決定いたしました。永年の歴史を刻んだ資料で、会員の皆様に重宝に利用していただいたのに誠に残念でなりません。ご理解の程をお願い致します。資料の提供希望については、規約を改正し、身元、使用目的提示の上で、雲南会事務局を通じて提供いたします。

従って「雲南会会計」の中で同窓会名簿作成費を「名簿管理費」として減額し、その額を活動費、印刷費に配分して、会報を増刷し、より多くの会員の皆様に配布することといたしました。また各支部活動を盛んにしていただくように「旅費」を増額し、要望があれば可能な限り学校側、雲南会本部より出向くことといたしました。猶「雲南会」の運営について、ご意見がありましたら遠慮なく申し出てください。

また、近年「雲南会総会」を、卒業三十一年目の期で主催していただくようになってから、若い層の出席が段々と多くなり、十九年度は会場(木次チェリヴァ大会議室)が満席となり、久々の「再会」の歓声が彼方此方であがり大盛況でした。お互い誘い合わせ参加をお願いします。

下表は雲南

	H16.10末現在	H19.12末現在
世帯数	13,467	13,614
総数	46,131	44,712
男	22,278	21,547
女	23,853	23,165

南市が誕生した時(平成十六年十一月一日)と十九年末現在の世帯数、人口の推移表です。時流に沿って家族の核化が進み世帯数は増加しておりますが、人口は三年間で千四百も減少しております。少子化、若年層の流出が止まりません。雲南市内の高校、三刀屋、大東、掛合、三校の行方、周辺の飯南、横田高校の存続など、県財政も厳しい折、推移を注視しております。「どげなとならんかいのー」の一言です。諸兄姉のご自愛を祈って挨拶といたします。

ご挨拶



校長 花田 英治

平成十九年四月より、前山校長先生の後任として着任しました。未熟者ですが、三刀屋高校発展のため精一杯努力してまいる所存です。宜しく願います。

着任して先ず感じたのは、本校は同窓会組織が非常にしっかりしているということです。本会はもとよりですが、東京支部会、大阪支部会をはじめとして、県内各地に支部会があり、それぞれ活発に活動しておられることに感激すると共に驚嘆したところです。今年度は、東京支部と大阪支部、そして西日登支部の総会に出席させて頂きましたが、どの総会においても母校を大切に思われる諸先輩の熱い思いをひしひしと感じ、私も三高の発展のため尽力せねばならないと意を強くした次第です。さて、一年あまりの勤務の中で、今私を感じていることを二つだけ述べさせて頂きま

す。第一は、学校のハード面の整備の必要性です。今年度も生徒たちは、ソフトボール部男女や陸上部男子の全国高校総体出場や、演劇部・ブラスパンド部・書道部・箏曲部の全国高総文祭出場をはじめとして、思う存分力を発揮している地元の方々の大きなご支援があり、感謝の気持ち一杯です。ただ、生徒たちの一層の活躍を願うとき、狭隘な校庭や老朽化した体育館など、我々学校関係者として解決していかねばならない課題が見えてきます。勿論これらの課題は一朝一夕に解決するとは考えておりませんが、大変なエネルギーが必要と思っています。しかし、伝統ある三高を今後も発展させ高らかに誇っていくためには、同窓会の皆さんとも一体になって考えていかななくてはならない大きな課題だと思っています。

第二は、生徒の心の成長に關してです。本校には、素直で明るく、そして人懐っこい生徒が多く、とても好感が持てます。ただ欲を言えば、指示待ちタイプの生徒が多いことが気がかりです。総合学科四年目を迎え、キャリア教育も軌道に乗り、自ら主体的に学ぶカリキュラムが充実してきていますが、残念ながら十分に機能しているとはまだ言い難い状況にあります。生徒一人一人に対し自分の人生について主体的にそして積極的に考える姿勢を身に付けさせるためには、今以上に多様な価値観で生徒の心を揺さぶってやる必要を感じています。このことは、我々教職員だけでは十分なことが出来かねるところがあり、数年前から、「島根教育の日」や「二年生の東京研修旅行」など様々な機会を捉えて、同窓会の皆さんにお願ひして講演をして頂いておりますが、今後もうこうした取り組みを一層充実させながら子供たちの心の成長を期していきたいと考えております。

以上、この一年で感じた二つのことを述べさせて頂きました。何れのことでも、我々は精一杯取り組む所存ですが、同窓会の皆様のお力添えでその何倍もの成果があるものと思えます。どうか今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

三刀屋高校ホームページについて

三刀屋高校のホームページが現在の形になり二年がたちました。二年生の研修旅行では、東京の研修先と連絡を取り合い、データを本校に送信してもらい、いち早くホームページで様子を公開できました。このように本校のホームページでは、たくさんのイベントに關する最新記事や学校の案内、総合学科の特徴、進路状況、部活動の紹介などを掲載しています。来年度も学校でのあらゆる活動を紹介したいと思っておりますので、ご期待ください。また、三刀屋高校同窓生の皆様への案内記事などもご希望があれば掲載いたしますので、ご連絡いただくと喜びます。



進化する総合学科 〜試行錯誤の先に見えた光〜

服部 智香

現在、島根県には総合学科を持つ高校が四校あります。三刀屋高校はその四番目として平成十六年度にスタートを切り、今春一学期を送り出しました。今年度はこれまでの実践と成果を他県に向けて発表する機会も得る等、島根県では普通科から改編した唯一の総合学科として注目されています。本校総合学科の特色は二つあります。一つは「進学校と

サイエンスカフェ開催

【11月10日】三刀屋高校にて「出版授業とサイエンスカフェ」が開催されました。この事業は島根教育ウェブ記事事業の一環として行われました。午前中は理系2年生を対象に「元著で見る地球のすかた」(高橋純子さん:東京大学地球研究所)と「海外で見る宇宙」(藤原英樹さん:東京大学大学院理学系研究科(天文学専攻))の2つの授業を行いました。午後のサイエンスカフェには高校生や一般の方を合わせて100名が参加しました。「太陽系外に惑星を探せ!」とテーマに藤原英樹さんよりわかりやすい説明をしていただきました。出版授業とサイエンスカフェの詳しい様子はサイエンスカフェのホームページ <http://www.scicafestation.nishimura.ac.jp/>に掲載されています。是非ご覧ください。

出版授業風景...講義と藤原英樹さんによる「海外で見る宇宙」
 赤外線...海外観望カメラで見ると、惑星は白く、赤外線で見ると

してのキャリア教育の充実」を図ることです。今、社会ではニートやフリーター、格差社会等の問題が論議される中、普通科におけるキャリア教育の充実が強く叫ばれています。キャリア教育が学校と社会の円滑な接続を図る重要な役割を担っているからです。そこで本校でもキャリア教育によって、なぜ勉強しなくてはならないのか、今の勉強が将来どのように役に立つのかを自覚し、それが学習に向かう積極的な姿勢へとつながる、教員の指導とキャリア教育が相互補完的な関係になることを目指しました。また、職業観・勤労観の育成のほかに「問題解決能力」や「読む・書く・聞く・話す力」等をつけることに重点を置きました。学習活動の基盤となるこれらの力をつけることで、教科の学習に意欲を持って臨むことを期待するからです。さらに進学校といっても、幅広い学力層の生徒が入学し、公務員や就職希望もいますのできめ細やかな指導をしていく上で、科目選択を有効に活用していません。教員数の加配もあり、少人数指導や専門分野への手厚い指導が可能となり、施設・

設備の充実も図られました。二つ目に「地域とのつながりを大切にすること」があります。本校同窓会組織「雲南会」の会員の皆様にも多方面からのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。今年度はインターンシップや研修旅行、講演会等でお世話になりました。おかげさまで地域や母校に誇りを持ち、地域の未来を担う生徒が着実に育っていることを実感しております。現在はこれらの特色を生かせるような教育活動を実践しています。

総合学科に改編された当初は「産業社会と人間」を中心としたキャリア教育を、いかに有効に実践していくかに苦心する日々でした。生徒によりよい環境を提供するために教職員一丸となって懸命に取り組んできました。職業観・勤労観を養うために様々な試みを実行する一方で、進路を保障するための教科学習への積極的な取り組みもあり、一年目は生徒も教員も全力疾走した感があります。まさに試行錯誤の連続でした。二期生からは一年目の反省を踏まえて、さらに精査されたカリキュラムを組むことができるように

なり、方向性を持って学校全体で取り組む姿勢が確立されました。

総合学科に改編され劇的な変化がおきたわけではありません。しかし、自ら考え、行動する力は着実に育ってきています。それは挨拶や規範意識の確立などといった日常のありふれた生活の中や、授業に向かう姿勢といったところに現れています。行事が終わった後に書く生徒の感想を見ると、様々な活動を通して心を揺さぶられ、何かに気づき、行動を起こそうとする思いが伝わってきます。実際に行動に移すことは容易ではないかもしれませんが、三高生の心の中に、確実に社会を生き抜く力が芽生えつつあるように感じています。

総合学科としての様々な行事を効果的に行うには、地域との連携が欠かせません。今後も様々な機会を通して連携を強めていきたいと考えていますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

総合学科としての様々な行事を効果的に行うには、地域との連携が欠かせません。今後も様々な機会を通して連携を強めていきたいと考えていますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

しまね教育の日

講演会

雲南会事務局長

山根 靖 司

その変化に伴って、現在日本では添加物が一五〇〇種も使われており、食の乱れは国の乱れと現状を大変憂えておられました。

生徒たちに「もっと五感を大切に」雑草のごとく生きよ」と諭しておられたのがとても印象に残っています。そこで、三人の生徒たちの感想を紹介します。

私は木次乳業で作られた牛乳を毎日飲んでいきます。どうやってこんなにおいしい乳製品を作っておられるのだろうか。今日は楽しみにしていました。牛にストレスをためないように放牧して飼育されていると聞いていましたが、雨が降っても雪が降っても牧場に牛をつれていかれると聞いて驚きました。人間にとっては大変なことです。牛にとってもはたたくましく優しい牛にならないと、ストレスをためないような牛を育てるには、私が住んでいる豊かな自然がないといけないなと思いました。食べ物についても、添加物が多く入っていても少しなら大丈夫と思っても少しくらいは、これからは少しでも気をつけていこうと思います。社会が

発達して暮らしが便利になったからといって、人間も発達していくのではなく、衰えていくのだなと思いました。便利なものを取り入れることも大切ですが、人間にとって本当にいるものなのか考えて取り入れていきたいです。

(三年女子)

今の食は、添加物がたくさん含まれていることを知りませんでした。添加物が食品の中に含まれていることは知っていましたが、醤油や塩といった調味料にまで含まれているのを知って驚きました。家では、畑で野菜を作っているのですが、そういった自然で作られた野菜を毎日食べるということは幸せなことだと感じました。それから、夏野菜は体温を下げる、冬野菜は体温を上げるという効果があることを初めて知りました。私は卒業したら、県外で一人暮らしをするようになると思うので、自分の体を気遣ってなるべく添加物の使われていない食品を選んでいきたい。そして、いずれは私もお母さんになると思うけど、母のように子供のことを考えて食品選びをしていきたいと思いました。(二年女子)

今日の講演を聴いて、まず自然の豊かなこの島根はとても農業のしやすい環境なのだと思います。都会と比べ、四季の変化や景色が変わっていくのがよくわかり、牛を育てるのにも、すばらしい所だとわかりました。普段あまり気にすることのなかった周りの自然は、やはりなくてはならないものなのだと感じました。県外に出て行く人が多くなった今、島根に来る人もいのだと知りました。この土地にどのような魅力があるのかと考えると、やはり自然の豊かさだろうと思います。牛を育てるのにも、小屋の中だけではストレスが溜まってしまっているので、この自然が生き返らせてくれるのだらうと感じました。地元にもまだまだ気づかないよさがあると思い、自分の視野を広げられたかなと思います。講演は農業に興味を持てるよい機会となりました。今の時代だからこそ、改めて農業をやることの意味を知らなければいけないのかなと思いました。

(一年男子)

雲南会総会 懇親会 報告

雲南会総会実行員会
二十八期代表
錦織達郎

平成十九年度雲南会総会が平成十九年九月二十九日(土)に木次町チェリヴァホール大ホールにて開催されました。当日はご多忙の中、多数の来賓の方をはじめ、遠方からご足労くださった会員も含め約二百名の会員の方々にご参加いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

午後二時から開会した総会では十九期、二十九期、三十期、三十一期の各期代表が登壇し、報告及び予算が審議され、ご多忙にもかかわらず、ご出席くださいました。引き続きアトラクションに移り、五十三期生で、現在日本を代表するオペラグループである二期会の準会員として活躍しておられる若手メゾソプラノ歌手の松尾南那さんのピアノ伴奏は二十九期生の菅

原史子さんにお願ひし、懐かしい童謡からスタンダードオペラまでアンコールを含め十曲あまりの美しい歌声に参加者の皆様から盛大な拍手が送られました。

その後の懇親会では思った以上に参加者が多く、用意していた椅子が足りなくなるほどの盛況となりました。(もっともチケットのほうは倍近く買ってもらっていたのですが、スママセン。)皆、なつかしい顔に話もはずみ、山また山の盛り上がり、時間も大幅に延長し、まさに我が雲南の建暎児といった様相でした。

今回の世話役は我々二十八期でしたが本当に不慣れな大役で、不行き届きな点が多々あったのではないかと紙面を借りてお詫び申し上げます。もう一度お世話させていただきますければ、とも思いましたが二十九期生も張り切っているようですので後は後輩に託します。

三刀屋高校と雲南会のみならずの発展と、来年も、さらにも、十年後、二十年後もまた皆様のこの笑顔にお会いできることを祈念して平成十九年度の雲南会総会のご報告とさせていただきます。



同窓会だより

卒業四十周年記念同窓会

第十九期卒

小林 敏 雄

団塊の世代と言われる私達第十九期卒業生三十二名は、四十年代の高度経済成長長期の中で育まれ、五十年代のオイルショックを経、今日の急速な効率化とIT社会を懸命に頑張ってきました。気がつけば日々の疲れが蓄積するようになり、時折物忘れも覚える年齢になりました。卒業四十周年の同窓会は幹事の皆さんにより盛大に開催することが出来ました。「波清く 三刀屋川・・」と、全員での校歌斉唱に始まり次いで先生の思ひ出話に、当時の授業や部活動を懐かしく思い出しました。出席者の中には卒業後初めての顔もあり学生時代の事、現在の家庭、仕事の話に花が咲き、皆四十年前の顔にもどりに楽しく語り合うことが出来ました。ただ、少し残念だったのは終わる前に、「すみません あなたは どなたでした

でしょうか？」の言葉。今後は、毎年開催することを約束し閉会としました。今年還暦を迎える同期生が益々健康で活躍出来ることを祈念して。

卒業三十周年記念同窓会

第二十九期卒

小林 栄一郎

「卒業三十周年の同窓会」の話が持ち上がったのが六月でした。我々二十九期は、卒業二十周年の同窓会を開催しませんでしたので、今回は、盛大に思っていました。スタートが六月のため、準備期間が短かく、結局、今回も二十九期の学年全体での同窓会が行えず各クラス毎の同窓会ということになりました。トータルで百余名が出席し、二次会三次会で、他のクラスと合流したりして、大いに盛り上がり「あだ名」で呼び合ったりし、同級生という絆を再確認しました。

十八才で卒業し、三十年も経過すると、もう五十才が目の前です。子供達が、三刀屋高校の在校生でまた同級生という者も大勢いるようでした。島根県では、県立高校再編の話もあると聞いていますが

我々二十九期が四十周年を迎える時にも、「三刀屋高校」は現在の地に三刀屋高校という名称のままで、発展していることと、同窓生の皆様のご活躍ご発展をお祈りいたします。

卒業二十周年記念同窓会

第三十九期卒

大森 圭一郎

私達三十九期卒業生は、昨年八月十二日、三刀屋「アスパル」において、卒業二十周年記念同窓会を開催いたしました。当日は、三年生時の恩師である石原先生、馬庭先生にもご出席いただき、全国各地から集まってくれた同級生の仲間と共に総勢七十三名で大いに盛り上がりました。

これまで、各クラスごとの同窓会は行ってきましたが、一組から五組まで全体での同窓会は卒業後初めてのことでした。それだけに、実際二十年ぶりとなる再会もあり、懐かしさと嬉しさで、あっという間に楽しい時間は過ぎていきました。二十年という年月

の間に皆それぞれが様々な出会いや経験を経て、年相応の容姿になってはいましたが、高校三年間という青春時代を

共に過ごした仲間達は、あの頃にタイムスリップしたかのように皆無邪気な笑顔で語り合っていました。二次会、三次会でも話は尽きることなく、またの再会を約束し、御開としました。

この度の同窓会開催のきっかけとなった雲南会に感謝いたしますと共に、母校三刀屋高校の益々のご発展をお祈りいたします。

進路指導室だより

進路指導部長

真 玉 保 浩

雲南会の皆様におかれましては、ますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。また平素は本校の教育活動を賜り、心より感謝申し上げます。

特に総合学科に改編されて以来、一年生の「産業社会と人間」、一・二年生の「総合的な学習」というカリキュラムの中で行います職業人講演会や職業体験（三日間）では多くの近隣地域の同窓生の方に、二次次の東京研修旅行におきましては東京在住の同窓生の方に、講演会や企業研修として学校見学等のために時間と場所の提供をはじめ数々のご尽力をいただきましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、冷房施設の整備等、教室の学習環境の改善についてもひとかたならぬご支援を賜り、教職員、生徒、保護者に代わりまして重ねてお礼申し上げます。

昨年三月には、総合学科の一期生が卒業しました。普通科が進化した総合学科のパイオニアとして、本校のキャリア教育を通じて三刀屋高校の新たな歴史を一つずつ切り開いてくれました。そして進路状況はこの近年で最高の結果でした。進学面では合格者の人数もさることながら、難関の旧帝大や私立大学にも合格者を出すことができ、また就職についても県内では依然厳

しい就職状況の中、希望者全員の内定を頂きました。このことは生徒自身が志を高く持ち、最後まで粘り強く、自分と学校を信じて努力し続けた成果であると思います。三年間部活動や生徒会活動、地域での諸活動をしながら頑張ってきた生徒がほとんどで、バランスのとれた人間として今後とも地域社会を支えてくれると確信しています。私たちが教職員にとっては本校の教育方針が正しかったことと生徒の支援のための日々の教育実践がきちんとできたことが確認でき、大きな自信になりました。今後も生徒と共に三刀屋高校の伝統を受け継いでさらに進化させて行く所存です。進路状況については後述の資料をご覧下さい。

四月以降、在校生も恵まれた教育環境と地域の方々や卒業生の皆様方からの暖かいご支援のおかげで充実した高校生活を送ってくれています。本年は全国高等学校総合文化祭しまねが開催され、総合学科二期生を中心に演劇部、吹奏楽部、箏曲部が出場を果たしましたし、佐賀インターハイでは男女ソフトボール部や陸上部が活躍しました。その中心であった二期生一七四名もまもなく母校を巣立っていきます。地元島根に就職、進学する生徒もおりますが、多くの生徒が島根を離れていきます。まだまだ未熟な面を持った生徒達ではあります。我々教職員や地域の方々や後輩達の話も一生懸命に聞く素直で将来性豊かな宝達です。これから先も進学や将来の就職のことなどで、雲南会の諸先輩方のお世話になることがあろうかと思えます。そのときにはどうぞよろしくお願いたします。最後にになりましたが、雲南会の皆様には、今後とも、三刀屋高校を暖かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

【資料1】平成19年度 進路状況 【H20. 2月現在の合格状況】 (合格延べ数)

国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	看護学校	医療系専門学校	各種専門学校	就職	公務員	合格者数
9	25	5	17	5	8	30	26	7	121

【就職内定状況】

地域	男子	女子	計	企業名
県内	16	7	23	松江 社会福祉法人 みずうみ、(株)長楽園、(有)玉造皆美 出雲 (株)サカイ引越センター、(株)ウシオ、(株)村田製作所 (株)ジェイ・エム・エス出雲工場、(株)ナカバヤシ、(株)三昌
中国	1	1	2	雲南 (株)仁多産業、(株)島根三洋電機、(株)島根イーグル
関西		1	1	(株)サンセイ電機、(株)山光
合計	17	9	26	広島 (株)マツダ、(株)イズミ 大阪 (株)山崎製パン

【資料2】平成18年度 進路状況 (合格延べ数) () 過年度卒業生の数：うち数

	国公立大		私立大		国公立短大		私立短大		看護学校		医療福祉専門		各種専門		その他		就職		公務員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
合格者延べ数	28	23	63	59	1	14		17	3	16	7	12	13	17	4	1	4	6	5		128	165
()	(2)		(5)																		(7)	
計	51		122		15		17		19		19		30		5		10		5		298	

【進学関係】

主なもの
 国公立大 大阪(1)神戸(1)名古屋(1)大阪外(1)広島(3)岡山(3)島根(8)鳥取(2)山口(3)横浜国(1)
 私立大 国際基督教(1)同志社大(2)立命館(3)関西学院(5)関西(5)甲南(1)安田女子(7)拓殖(2)

【就職関係】

地域	男子	女子	計
県内	2	5	7
中国	1	1	2
その他	1		1
合計	4	6	10

【県外】

広島 マツダ株式会社 二村自動車
 富山 YKK AP

【県内】

松江 東京靴株式会社 オートバックス
 出雲 出雲村田製作所(2) 島根富士通
 雲南 東洋製鉄株式会社(2)



演劇部顧問

筆尾 佳宏

演劇部です。大変なことに
なりました。

何が大変かということをお
伝えるために、少し高校演
劇のコンクールについて説明
させていただきます。

現在、中国地区には約二〇

〇の演劇部があります。県大
会を経て選ばれた各県の代表
十一校が、中国大会で上演し、

その中で最優秀賞を受賞した
一校だけが、翌年の夏開催さ
れる全国高等学校総合文化祭
(全国大会)に、中国プロッ
ク代表として出場することと

なります。全国には約二四〇
〇の演劇部がありますが、全
国大会に出場できるのはたっ
た十二校。単純に確率だけで

言えば、二〇〇年に一度出場
できるかどうかという狭き門
ということになります。

その全国大会に、今年の夏、
三刀屋高校演劇部は出場する
ことになったのです。

しかも三年連続で。

島根県ではもちろん、中国
ブロックでも初の快挙。さら

に、ここ二年間の三刀屋高校

の成績を申し上げますと、初
出場であった十八年度の全国

大会でいきなり審査員特別賞
(全国大会五位)を受賞し島

根県勢初の優秀校東京公演。
一九年度の大会では創作脚本

賞(全国大会で一校のみ)を
受賞。これも県勢としては初

めてのことでした。その三刀
屋が三年連続で出場するとい

うことで、二十年度の全国大
会ではすでに注目の的。

実は現在、三刀屋高校演劇
部は「全国で最も有名な演劇

部」となっているのです。
運動部とは異なり、このこ

とが大きな話題として取り扱
われることは、そう多くあり

ません。しかし、今後もいろ
いろな場面で「三刀屋高校は

すごいことをしている」と
PRしていると思うていま

す。

現在演劇部は二十一名。

「暮れないマーチ」という創
作劇の練習に取り組んでいま

す。なるべく多くの人に観て
いただき、楽しんでもらうこ

とを目標に、日々自分たちの
表現を模索しています。

地元での上演機会になかなか
恵まれません。ぜひ一度
お越しください。

また、昨年は卒業生の方か

ら多数の励ましのお言葉やご
厚情をいただき大変ありがと

うございました。部員一同喜
んでおります。皆様のご期待

に添えますよう、今年も表現
活動に励んでいきたいと思っ

ておりますので、よろしくお
願いたします。

◇今後の上演予定◇

平成20年2月3日

香川県高松市
(サンポート演劇祭
招待公演)

平成20年3月15・16日

出雲市
(ビッグハート出雲)

平成20年3月29日

岡山県津山市
(美作演劇フェスティバル
招待公演)

平成20年8月初旬

群馬県桐生市
(全国総合文化祭
中国地区 代表)

演劇部部长

渡部 詩央里

「三月記(サンゲツキ)」

「笑い女」そして今年は「暮
れないマーチ」と、三回連続

となる全国大会出場を決めた
演劇部ですが、私たち自身が

一番驚いています。

ただ演劇を楽しむことを心
がけてきた集団が、三度、全

国という大舞台に立つことが
決まっても、初めは実感があ

りませんでした。しかしこれ
は現実だと理解すると、感謝

とうれしさの気持ちでいっぱ
いになりました。この「暮れ

ないマーチ」という劇を多く
の人たちの前で、また上演で

きる機会をいただき、本当に
有り難いと思っています。

私たちがここまでがんばっ
てこれたのも、「三月記」で

全国大会への道をつくってく
ださった先輩方、そしていつ

も温かい応援を支えてくださっ
ている周りの方々のお陰です。

本当にありがとうございます。
これからも、三刀屋高校らし

い、楽しい舞台を目指して活
動していこうと思います。心

に残るような劇を創っていこ
うと思いますので、応援よろ
しく願います。

部活動

トピックス

吹奏楽部

今年の夏に開催された高総
文祭島根大会の吹奏楽部門に

県代表の一校として出場する
機会をいただきました。「こ

れは三刀屋を全国にアピール
できる絶好のチャンス」と思

い、二カ月余りという短い練
習でしたが、部員の一部で地

元の三刀屋太鼓に挑戦し「御
衣黄」という曲を演奏しまし

た。勇壮な太鼓の響きが会場
を包み、吹奏楽の一曲ととも

にしっかりと三刀屋らしさを
表現し、盛大な拍手をいただ

きました。この三刀屋太鼓を
担当したメンバーは、慣れな

い太鼓の練習を通じて精神面
においても大きく成長してく

れたと思っています。

他県の代表の演奏から受け
た沢山の刺激を、今後の活動

に生かしたいと思えます。
今後とも応援のほどよろし
く願います。

(顧問 太田 知伸)

陸上競技部

「20年度も期待してください」

春先の仕上がりは決して万全のものではありませんでしたが、試合を重ねるごとに部員全員の意識が高まり、切れの良さが出てきました。特に総体では、800mでの優勝をはじめとして、七種目の入賞、五種目四名の中国大会出場、そして、学校対抗で男子総合八位という好結果を納めました。800mでは中国高校総体でも入賞してインターハイに出場することができ、さらに国体にも出場することができました。

秋の新人戦では4種目で入賞し、二名三種目で出場した中国新人大会でも男子やり投げで入賞しました。20年度はフィールド種目を得点源として、高校総体での二年連続入賞や、二年連続インターハイ出場が期待できます。

各パートの練習に対する意識は一層高くなってきました。20年度も頑張りますので、ご声援をよろしくお願いします。

(顧問 長野 博)

女子ソフトテニス部

三刀屋高校に赴任して、二年目が終わろうとしています。

平成十九年度は全国大会出場をめざしましたが、六月の総体個人戦(ベスト16)中国大会出場、十二月の島根県インドア選手権(個人第三位・ベスト8)ともあと二勝のところで目標達成を逃しました。団体戦も東部地区予選で決勝進出を果たすも、夏の県団体選手権三位、県新人戦ベスト8と今ひとつ爆発することができずに、選手・顧問・保護者共に悔しい思いをしました。平成二十年度こそはと、この冬に一生懸命練習に取り組んでいます。

生徒に全国の舞台を経験させるのが私の仕事と考えていますし、現在の部員の多くは、その舞台に立ち、そこで堂々と三刀屋高校のテニスをすることを入学時から目標としてくれています。勝負は時の運とはいうもののやはり勝者になれるチームははじめから決まっています。そのため以下(1)~(3)の三点にこだわっています。(1)目標達成に集中する。練習中は「結果の目標」練習でできた半分が試合で

できれば十分と考えてください！試合では「プレイの目標」(試合では勝ち負けではなく、自分とパートナーのプレイ(技術・心理・体力面)に対する目標達成に全力を尽くす。(例)ファーストサーブをセンターに入れて、返球されたボールを思い切りクロスに打つ。三球目攻撃に徹する。自分のペースを守る。思い切りプレイする。あきらめない。

(2)実力発揮することに専念する。ベストプレイに集中する。「こうすればよいのだ」「自分の力が出し切れれば良い」「出し切るぞ!」「簡単にはポイントをやらないぞ」(3)高校生の最高の舞台。思い切りよく、楽しくプレイする。大きな声を出す。自分の存在をアピールしよう。

今はまだ、普段の練習に向かう意識の高さ、苦しさに立ち向かう根性とそれを支えるチームの和がまだ十分ではありませんが、選手達は本当に素直で、いろんなことを吸収してやろうと意欲満々です。私自身も彼女たちの気持ちに触発されて、テニスコートに出るのが楽しみで仕方ありません。春には、全国選抜大会出場校が集まって行われる全

国高校女子ソフトテニス研修大会(滋賀県長浜市 3/30~4/4)に参加して全国レベルを直に経験させることにしています。このチームの選手達と結果の目標達成をめざし、できる限り長く一緒にソフトテニスを楽しみたいと考えています。三刀屋高校ソフトテニス部の未来にご期待下さい。

(顧問 真玉 保浩)

男子ソフトボール部

『われらの三高』にありの姿勢で！

平成十三年より全国高校総体は七年連続、全国選抜大会は五年連続の出場となりました。今年も全国選抜大会、全国高校総体ともにベスト16に入ることができました。島根県の記録でもあるベスト8に手が届くところまで来ましたが、その壁は大きくベスト8に入るチームは技術の高さはもちろんですが、体の強さや精神的にレベルの差を感じました。その差を埋めるべく、冬のトレーニングでは限られた時間の中で効率よく体力をつけ、また二月までに体重5キロアップを目標にしていま

す。また、六月の県総体以降から続いている朝の挨拶運動も今後の伝統の一つとなればと思っています。そのような活動を通し、今までの男子ソフトボール部の元気の良さを失わず、正さなければならぬところをはきちんと正し、三刀屋高校を引っ張る存在になっしてほしいと努力しています。全国大会で常連校となり、ソフトボールの世界では「みとや」と覚えていただけようになりました。これからも大会での活躍、そしてソフトボールに向かう姿勢を通して、たくさんの人に『われらの三高』ここにあり』と感じてもらえるように努力していきます。

(顧問 中島 裕宣)

女子ソフトボール部

厚かった全国の壁

六月に本校を会場に行われた県総体に優勝し、全国総体に二年ぶりに出場しました。

県総体では本場にたくさんの応援をいただき、目に見えない大きな力を感じながらの三試合でした。このチームは守備のチームでありながら、それまでの公式戦ではことごと

く守備の乱れから試合を落としていました。しかし県総体では三試合で一失点という守備ができ、最後の最後で目指すソフトボールができたように思います。

全国総体では富山県代表校に五対0で敗れました。相手に派手さは無いものの攻守にわたりほとんど何もさせてもらえず、目標としてきた「全国で一勝」がどんなに大変な事か痛感させられました。新チームはまだですが、夏には「全国で一勝」できるような頑張りです。応援よろしくお願ひします。

(顧問 寺岡 智弘)

野球部

夏の大会に向けて

今年の夏の大会では、降雨延期・降雨再試合と、コンディション作りが難しく、一回戦津和野高校に敗戦し、三年間甲子園を夢見て取り組んできた選手にとって、とても悔しい思いを残す結果となりました。ですが、勝敗だけがすべてではなく、三年間取り組んできた過程を大切に、今後に生かしてもらいたいと思います。

新チームとなり望んだ秋の大会では、体力面・精神面・技術面での差を実感した大会でした。しかし、高いレベルのチームとの差を感じる事ができ、やるべき課題がはっきりと意識できた意味で、課題意識が持てるようになりました。

今は、基礎的な体力づくりを中心とした土台作りをしかりとし、一つ一つ目的意識を持ち、自分たちのやってきたことが夏の大会の糧となるよう、チームが一つになって勢いのあるチーム作りを心掛けていきたいと思ひます。

(顧問 曾田 陽一)

箏曲部

八月一日・二日の二日間、

地元の雲南市三刀屋町文化体育館アスパルを会場に第三十回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門島根大会が開催されました。この大会に三刀屋高校箏曲部は開会のオープニングを飾る島根合同チームの一員として参加し、県内七校の三十七名で「まほら」という曲を演奏しました。この「まほら」は「まほるば」の別称で、「すばらしい場所」

という意味をもち、日本の原風景ともいえる島根の美しい風景をイメージさせる曲です。当日は島根を訪れた全国のみなさんを歓迎する気持ちで心を一つにして演奏することができました。また、この大会は全国の五十七団体が参加する非常に規模の大きな大会でしたが、三刀屋高校が事務局を担当し、多くの生徒、職員が運営役員として活躍し、成功を収めた大会でもありました。

(顧問 土居 直子)

部活動報告

十九年度(一月末現在)

体育系

○野球部

* 県高校春季野球大会

中部地区予選

三刀屋 5-1 出雲

* 県大会

1 回戦 三刀屋 8-3 浜田商業

2 回戦 三刀屋 7-8 松江農林

ベスト 8

* 全国高校野球選手権島根大会

1 回戦 三刀屋 2-5 津和野

* 出雲地区リーグ戦

三刀屋 2-4 出雲

三刀屋 8-0 飯南

三刀屋 2-3 出雲西

* 県高校秋季大会

1 回戦 三刀屋 7-5 出雲西

2 回戦 三刀屋 1-5 出雲商

○陸上競技部

* 宍道湖一周駅伝競走大会

記録 3 時間 33 分 40 秒

16 位 (69 チーム中)

区間記録

1 区 新 和人

2 区 別木政彦

3 区 渡部裕太

4 区 山根慎也

5 区 白築直樹

6 区 河角剛志

7 区 稲田太一

41 分 30 秒 区間

23 位

* 出雲陸上競技大会

男子 400 M 決勝

新 和人 52 秒 38

男子 1500 M 決勝

新 和人 4 分 07 秒 80

渡部裕太 4 分 08 秒 62

男子 5000 M 決勝

別木政彦 16 分 34 秒 25

稲田太一 16 分 40 秒 09

5 位

* 島根県高校総体陸上競技大会

男子総合 8 位

* 男子円盤投決勝

高野聖也 28 m 70

3 位

* 男子やり投決勝

小川順平 45 m 74

1 位

高野聖也 41 m 25

3 位

女子 800 M 決勝

影山智子 2 分 43 秒 47

8 位

* 全山陰陸上競技大会

男子 800 M 決勝

新 和人 2 分 03 秒 74

4 位

渡部裕太 2 分 04 秒 68

5 位

男子 1500 M 決勝

新 和人 4 分 08 秒 48

8 位

4x400 M R 決勝

別木、河角、渡部、新

3 分 37 秒 92

6 位

男子やり投決勝

小川順平 48 m 51

4 位

* 島根陸上競技選手権大会

男子 800 M 決勝

渡部裕太 1 分 59 秒 50

2 位

中国選手権出場

新 和人 2 分 05 秒 26

6 位

中国選手権出場

男子 1500 M 決勝

新 和人 4 分 04 秒 94

5 位

中国選手権出場

男子やり投決勝

小川順平 47 m 65

6 位

中国選手権出場

男子 Jr 円盤投決勝

高野聖也 28 m 98

7 位

* 島根県高校総体陸上競技大会

男子総合 8 位

・男子800M決勝
新 和人 1分58秒91 1位

中国総体進出

渡部裕太 2分00秒33 4位

中国総体進出

・男子1500M決勝

新 和人 4分09秒11 4位

中国総体進出

渡部裕太 4分13秒00 7位

・男子砲丸投決勝

高野聖也 10m68 8位

・男子やり投決勝

小川順平 48m45 3位

中国総体進出

高野聖也 44m11 5位

中国総体進出

・中国選手権大会

・男子800M決勝

新 和人 1分55秒47 6位

インターハイ出場

渡部祐太

予選敗退

・男子1500M

新 和人 7分7秒57

予選敗退

・男子やり投

小川順平 46m05

予選敗退

高野聖也 44m09

予選敗退

・全国総体

・男子800M予選

新 和人 2分04秒04 8位

予選敗退

・県高校新人戦

・男子円盤投げ決勝

小川順平 31m80 3位

高野聖也 27m37 9位

・やり投げ決勝

小川順平 47m43 優勝

高野聖也 45m20 2位

山根慎也 43m30 4位

・第62回国民体育大会

・少年A男子800M予選

新 和人 1分59秒92

予選敗退

・県高校新人戦

・男子円盤投げ決勝

小川順平 31m80 3位

中国高校新人大会出場

・やり投げ決勝

小川順平 47m43 優勝

中国高校新人大会出場

高野聖也 45m20 2位

中国高校新人大会出場

・県高校駅伝大会

第12位

三刀屋 2時間30分31秒

・男子ソフトテニス部

・県総体地区予選

個人戦

7組が県総体出場権獲得

団体戦

1回戦 三刀屋1-2松江農林

・県総体

個人戦

細井・白築組 2回戦敗退

景山・雨川組 2回戦敗退

長谷川・高花組

2回戦敗退

市場・原組 2回戦敗退

細木・錦織組 1回戦敗退

藤原・神田組 1回戦敗退

古田・高橋組 1回戦敗退

団体戦

1回戦 三刀屋3-10出雲商業

2回戦 三刀屋0-12松江商業

・国体予選

個人戦

3回戦進出 細木・雨川組

・県新人戦東部地区大会

団体戦

1回戦 三刀屋0-3横田

個人戦

細木・雨川組、藤原・錦織組、長谷川・神田組

ベスト32

・女子ソフトテニス部

・県総体地区予選

個人戦

12組が県総体出場権獲得

団体戦

2回戦 三刀屋1-12松江北

・県総体

個人戦

友塚・三反田組 ベスト16

中国大会出場

大田・木奈崎組 ベスト20

中国大会出場

渡部・原組 ベスト64

石原・周藤組 ベスト64

中村・長尾組 ベスト64

松林・藤原組 ベスト64

吉野・松村組 ベスト64

稲村・古居組 ベスト64

恩田・岸組 ベスト64

岡田・神田組 ベスト64

池田・谷戸組 ベスト64

武田・永瀬組 1回戦敗退

団体戦

1回戦 三刀屋3-10益田東

2回戦 三刀屋0-12松江商業

・中国大会

個人戦1回戦

大田・木奈崎組

1回戦 友塚・三反田組

3-14 大津高

1-4 鈴ヶ峰

・国体予選

個人戦

3回戦進出

渡部・原組、中村・長尾組

吉野・永瀬組

4回戦進出

大田・木奈崎組

・団体選手権

Aチーム

(大田・木奈崎組)

中村・松林組

準々決勝 三刀屋2-1江津

準決勝 三刀屋0-12浜田

第3位

・県新人戦東部地区大会

個人戦

3回戦進出

大田・木奈崎組

藤原・長尾組

中村・松林組

団体戦

2回戦 三刀屋3-10出雲農林

3回戦 三刀屋2-11江津

準決勝 三刀屋2-10安来

決勝 三刀屋0-12松江商業

準優勝

・県新人戦

個人戦

中村・松林組

藤原・長尾組

団体戦

2回戦 三刀屋2-11出雲商業

準々決勝

三刀屋0-12大社

・県高校インドア選手権

個人戦

中村・松林組

藤原・長尾組

第3位

ベスト8

・男子バスケットボール部

・中国高校選手権県予選

2回戦 三刀屋67-80益田

・県総体

2回戦 三刀屋104-65瀬摩

3回戦 三刀屋56-70松江北

○女子バスケットボール部

*中国高校選手権県予選

1回戦 三刀屋104-32 隠岐島前

2回戦 三刀屋58-79 山雲商業

*県総体

2回戦 三刀屋92-86 益田東

3回戦 三刀屋35-81 松江東

○男子ソフトボール部

*全国選抜大会

2回戦 三刀屋5-2

中部大第一(愛知県)

3回戦 三刀屋1-3 身延

ベスト16 (山梨県)

*中国高校選手権県予選

決勝戦 三刀屋16-0 安来

優勝

*中国高校選手権

1回戦 三刀屋6-3

東岡山工業(岡山)

準決勝 三刀屋4-3 御調

(広島)

決勝戦 三刀屋1-12 新見

準優勝 (岡山)

*県総体

決勝戦 三刀屋11-2 安来

(5回コールド)

優勝

全国総体出場

*全国総体

1回戦 三刀屋11-0 福岡

(岩手)

2回戦 三刀屋25-2 彦根工

(滋賀)

3回戦 三刀屋0-5 高知工

ベスト16 (高知)

*県選手権大会

決勝戦 三刀屋10-0 安来

優勝

*県選手権大会

決勝戦 三刀屋10-0 安来

優勝

*県新人戦

決勝戦 三刀屋14-1 安来

(全国選抜大会出場権をかねて山口県代表と対戦)

*中国高校新人大会

一回戦 三刀屋14-2 米子松蔭

準決勝 三刀屋0-6 御調

(広島)

*全国選抜大会中国予選

代表決定戦

三刀屋15-0 徳山(山口)

全国選抜大会出場

○女子ソフトボール部

*中国高校選手権県予選

1回戦 三刀屋24-0 大社

2回戦 三刀屋9-7 出雲商業

準決勝 三刀屋7-0 松江商業

決勝戦 三刀屋2-9 大東

2位

*中国高校選手権

1回戦 三刀屋2-15

岡山東商業(岡山県)

*県総体

2回戦 三刀屋4-1 出雲商業

準決勝 三刀屋3-0 大社

決勝戦 三刀屋7-0 松江商

(6回コールド)

優勝

全国総体出場

*全国総体

1回戦 三刀屋0-5 滑川

(富山)

*県選手権

準決勝 三刀屋6-7 出雲商

第3位

*県新人戦

準決勝 三刀屋1-4 大東

第3位

○男子バレーボール部

*中国高校選手権県予選

予選グループ戦

三刀屋2-0 益田

三刀屋0-2 松江西

*県総体

1回戦 三刀屋2-0 大社

2回戦 三刀屋0-2 安来

*県新人戦

予選リーグ 0勝2敗で敗退

*県選手権

予選リーグ 0勝2敗で敗退

予選リーグ 0勝2敗で敗退

○女子バレーボール部

*中国高校選手権県予選

予選グループ戦

三刀屋0-2 飯南

三刀屋0-2 松江商業

*県総体

2回戦 三刀屋1-2 江の川

*県新人選

予選リーグ 1勝1敗で敗退

*県選手権

予選リーグ 0勝2敗で敗退

個人戦

1回戦 三刀屋 不戦勝 江津

2回戦 三刀屋0-3 大社

個人戦

*卓球部

*中国高校選手権県予選

男子団体

1回戦 三刀屋3-0 大東

2回戦 三刀屋0-3 松江工業

*県総体

男子団体

2回戦 三刀屋0-3 益田工・翔陽高校

男子ダブルス

2回戦進出 5組

男子シングルス

小林幸博、朝倉隆男

景山泰佑、早水怜

8名

3回戦敗退

2回戦敗退

*県高校選手権

男子シングルス

2回戦進出 12名

3回戦進出 3名

*県新人戦

男子団体

2回戦 三刀屋3-2 矢上

3回戦 三刀屋2-3 出雲工業

*剣道部

*中国高校選手権県予選

男子団体

1回戦 三刀屋3-1 浜田商業

2回戦 三刀屋1-2 出雲西

女子団体

1回戦 三刀屋 不戦勝 江津

2回戦 三刀屋0-3 大社

個人戦

藤原充顕、井谷恭平

ベスト32 中国大会出場

松崎弘恵、万場幸、高尾有紀

*県総体

男子団体

1回戦 三刀屋4-1 松江農林

2回戦 三刀屋1-3 出雲西

女子団体

1回戦 三刀屋3-0 松江東

2回戦 三刀屋0-1 松江北

個人戦

井谷恭平、松崎弘恵

ベスト16

*中国大会

男子個人

2回戦

井谷コ高岡(広島皆実)

藤原コメメ佐藤(広島皆実)

女子個人

1回戦

万場コー須間(三次)

2回戦

万場コ下岡田(米子松蔭)

1回戦

高尾メー下中(倉吉東)

2回戦

高尾メ植月(津山東)

2回戦

松崎一メ山本(倉敷商)

*県新人戦

男子団体

2回戦 三刀屋1-2平田

女子団体

1回戦 三刀屋5-0益田

2回戦 三刀屋0-3出雲商業

ベスト8

○柔道部

*中国高校選手権県予選

男子団体

予選リーグ

三刀屋5-10津和野

三刀屋3-1 大田

準々決勝

三刀屋3-2松江工業

準決勝

三刀屋1-4 開屋

3位決定戦

三刀屋4-1 浜田

3位

中国大会出場

個人戦

60 kg級 須山雅之 ベスト8

66 kg級 中澤聡也 ベスト8

川津恵太 ベスト8

横木 蓮 ベスト8

*県総体

男子団体

予選リーグ

三刀屋4-0松江農林

三刀屋2-1 松江北

決勝トーナメント

1回戦 三刀屋4-1益田東

準決勝 三刀屋1-3平田

3位

女子団体

予選リーグ

三刀屋0-3出雲西

三刀屋0-2浜田

個人戦

66 kg級 中澤聡也 ベスト4

横木 蓮 ベスト8

川津恵太 ベスト16

石飛修平 ベスト4

*中国高校柔道大会

男子団体

予選リーグ

三刀屋1-3八頭

三刀屋0-4崇徳

三刀屋2-2南陽工

三刀屋1-3東岡山工

(予選リーグ敗退)

個人戦

66 kg級 中澤聡也

1勝2敗(敗退)

90 kg級 石飛修平

1勝2敗(敗退)

*県新人戦

男子団体

予選リーグ 0勝2敗で敗退

女子団体

予選リーグ 0勝2敗で敗退

男子個人戦

66 kg級 中澤聡也 第2位

横木 蓮 ベスト8

安井恵樹 ベスト8

60 kg級 辰村洋希 ベスト8

女子個人戦

52 kg級 永瀬 舞 第3位

○サッカー部

*中国高校選手権県予選

出雲地区予選

予選リーグ

三刀屋0-6大社

三刀屋0-3大田

*県総体

1回戦

三刀屋0-1松江農林

○スキー部

*全国高校スキー大会県予選

男子GSL 小林優太 優勝

男子SL 優勝

中国大会・全国大会出場

*第63回国体権予選

高校の部GSL

小林優太 優勝 国体出場

高校の部SL

優勝 国体出場

島根県高校総体

学校対抗戦

Aグループ

敢闘賞

(男女63点 男子40点)

女子23点)

文化系

○吹奏楽部

*全日本吹奏楽コンクール

島根県大会

金賞(6位)

*全日本アンサンブルコンテ

スト島根県大会

打楽器6重奏

高校Aの部 金賞

中国大会出場

金管8重奏

高校Aの部 金賞

中国大会出場

○書道部

*高文連書道コンクール

大田紗穂 特選

藤原佑衣 秀作

大田莉穂 佳作

小林千穂 佳作

*全国高等学校総合文化祭

大田佳代 特別賞

*島根県高校書道展

小林千穂 奨励賞

○JRC部

*島根県高等学校青少年赤十字

春季協議会・島根県青年赤十字

メンバリーダースイットレーニングセンター

(高校の部) 参加

○放送部

*島根県高等学校放送コンテ

スト 東部地区大会

アナウンス部門

江角祥子 3位

*島根県高等学校放送コンテ

スト 県大会

アナウンス部門

準決勝 江角祥子 18位

○演劇部

*岡山県高校演劇フェスティ

バル(招待公演) 参加

*島根県高校演劇発表大会

最優秀賞

*中国高校演劇発表大会

最優秀賞

全国大会出場

○美術部

*島根県高校美術展

入選32点

○写真部

*県高校写真展

入選1点



歓迎

新入会員の皆さん、支部先輩を是非お訪ね下さい。お待ちしております。

- 東京支部 幹事長 天沼 勝(昭50卒)
名古屋支部 幹事長 大田和 麻生(昭43卒)
大阪支部 幹事長 吉原 伸行(昭34卒)
広島支部 幹事長 太田 憲二(昭55卒)
鳥取支部 幹事長 松原 憲(昭35卒)
松江支部 幹事長 松野 正充(昭46卒)
出雲支部 幹事長 落合 久啓(昭37卒)
石見支部 幹事長 島田 昭次(昭30卒)
大東支部 幹事長 鳥谷 敬(昭24卒)
加茂支部 幹事長 榎原 俊(昭19卒)
木次支部 幹事長 板持 達夫(昭38卒)
斐伊支部 幹事長 福岡 正徳(昭42卒)
日登支部 幹事長 陶山 浩二(昭55卒)
西日登支部 幹事長 金山 信夫(昭32卒)
温泉支部 幹事長 川本 巧(昭47卒)
仁多支部 幹事長 中林 安雄(昭17卒)
三刀屋支部 幹事長 谷茶 賢(昭28卒)
一宮支部 幹事長 須山 哲好(昭45卒)
銅山支部 幹事長 靄 亀正義(昭42卒)
飯石支部 幹事長 高尾 正治(昭41卒)
中野支部 幹事長 名原 哲男(昭49卒)
掛合支部 幹事長 竹下 幸治(昭41卒)
吉田支部 幹事長 大島 文雄(昭48卒)
頓原支部 支部長 鳥屋ヶ原 孝(昭27卒)
頓原分校支部 幹事長 那須 繁弘(昭35卒)

事務局だより

この一年間の同窓会の行事

会員の皆様には、お元気で活躍のことと存じます。さて、新方式での雲南会総会・懇親会開催も八年目を迎えました。本年度は高校28期の皆様方のご尽力により、盛会裏に終了することができました。巻頭の福岡会長様のお言葉にもございますように、若い方の参加がふえ、大変に喜ばしいことです。これまでの流れを踏襲するだけではなくそれぞれの期らしき加わってきている点が見て取れとても頼もしく感じます。

平成19年

- 3月1日 雲南会入会式 (第59期卒業生)
6月16日 東京支部総会
7月7日 大阪支部総会
7月21日 日登支部総会
8月3日 雲南会会計監査
8月18日 雲南会役員会
9月7日 木次支部総会
9月29日 平成19年度雲南会総会
(チェリヴァホール高校28期担当)
11月18日 西日登支部総会

平成20年

3月3日 雲南会入会式 (総合学科第二期卒業生)

高校卒業三十周年とそれに続く総会・懇親会開催ということで、それぞれの期の皆様方には大変なお役目をお引き受けいただき、ご負担をおかけしておりますが、これを同窓生の絆を深めるよい機会としていただければ幸いです。

最近、三刀屋高校の教職員と名乗って卒業生の住所等を聞き出そうとしたり、新名簿を作成するからと購入勧誘の文書が送りつけられたりしています。雲南会からのお知らせは必ず三刀屋高校発の郵便でお知らせいたします。電話でお尋ねすることは絶対にありませんのでご注意ください。



平成18年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増 △減	摘 要
入 会 金	3,330,000	3,378,500	48,500	のべ 6,757人×500円
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高18期、高28期、高38期
雑 収 入	100	325	225	利息
合 計	3,780,100	3,828,825	48,725	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000		450,000	450,000	0	高27期主催
支 部 総 会 費	300,000		300,000	182,000	118,000	大阪、東京、松江、日登、木次、西日登
活 動 費	300,000		300,000	146,913	153,087	同窓会会報発送費等
印 刷 費	380,000	△102,308	277,692	135,449	142,243	同窓会会報印刷
役 員 会 費	210,000		210,000	162,825	47,175	役員会等会議費
同窓会名簿作成費	800,000		800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000	50,600	80,600	80,600	0	餞別、退職祝金、退職記念品
慶弔見舞金	40,000		40,000	0	40,000	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000		300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	7,430	37,430	37,430	0	切手、はがき代、その他送料
旅 費	720,000	31,701	751,701	751,701	0	支部総会出席等
事 務 費	80,000	20,007	100,007	100,007	0	事務用品
雑 費	120,000		120,000	102,450	17,550	新聞広告費等
予 備 費	20,100	△ 7,430	12,670	0	12,670	
合 計	3,780,100	0	3,780,100	3,249,375	530,725	

差引残高：3,828,825円－3,249,375円＝579,450円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成19年8月3日

監事 金山 寿忠

監事 銚藏 達郎

平成19年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増 △減	摘 要
入 会 金	3,192,000	3,330,000	△ 138,000	532人×500円×12ヶ月
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高19期、高29期、高39期
雑 収 入	100	100	0	利息
合 計	3,642,100	3,780,100	△ 138,000	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増 △減	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高28期主催
支 部 総 会 費	300,000	300,000	0	大阪、東京、木次、三刀屋ほか
活 動 費	800,000	300,000	500,000	同窓会会報発送費等
印 刷 費	430,000	380,000	50,000	同窓会会報印刷費、その他印刷
役 員 会 費	200,000	210,000	△ 10,000	各種役員会等
同窓会名簿作成費	0	800,000	△ 800,000	名簿会計へ
同窓会名簿管理費	100,000		100,000	同窓会名簿原簿管理費
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶弔見舞金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	30,000	30,000	0	郵券代ほか
旅 費	770,000	720,000	50,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	80,000	80,000	0	事務費用品
雑 費	110,000	120,000	△ 10,000	新聞広告等
予 備 費	2,100	20,100	△ 18,000	
合 計	3,642,100	3,780,100	△ 138,000	